

# 第20回 河川生態学術研究発表会

自然環境グループ 研究員 内藤 太輔

## 1. はじめに

平成29年11月20日に浜離宮朝日ホール（東京都中央区）にて、「第20回河川生態学術研究発表会」を開催しました。

本研究発表会は、生態学と河川工学の研究者が共同で生態学的な観点より河川を理解し、川のあるべき姿を探ることを目的とした先進的な研究成果を発表・議論することを目的とし、河川生態学術研究会と応用生態工学会の共催で開催しています。

河川生態学術研究会では、現在、個別河川をフィールドとした4つの研究グループ（千曲川、木曽川、斐伊川、菊池川）が研究を実施しています。

## 2. 発表会の内容

今回の河川生態学術研究発表会は、個々の研究者と参加者との意見交換をより活発にすることを意図して、例年行っていた各研究グループの口頭発表主体の形式から、ポスター発表を中心とした発表形式に大きく変更しました。

さらに、話題セッションについては、事前にテーマを設定し掘り下げた議論ができるように、その分野を専門とする研究者をコーディネーター、パネリストとして迎えました。

<b>1. 研究グループの概要説明</b>	
・斐伊川研究グループ	山室 真澄 代表
・千曲川研究グループ	平林 公男 代表
・木曽川研究グループ	森 誠一 代表
<b>2. ポスターセッション</b>	
・斐伊川研究グループ	
・千曲川研究グループ	
・木曽川研究グループ	
<b>3. 集中ポスターセッション</b>	
・概要説明	島谷 幸宏 代表
・コアタイム	
・討議	
<b>4. 話題セッション</b>	
テーマ：河川景観における湧水・地下水への生態学的研究の展望	
※コーディネーター：根岸淳二郎（北海道大学）	
※パネリスト	
「湧水河川と水系内他河川間における生物種群の移動分散について」 東城 幸治（信州大学）	
「地質と湧水域・河川間隙水域の空間的変動」 笠原 玉青（九州大学）	
「攪乱場・非攪乱場の視点で見る湧水域と課題」 鷺見 哲也（大同大学）	
「河川水温の時空間異質性と生物のダイナミックな応対」 宇野 裕美（京都大学）	

(1) ポスターセッション / 集中ポスターセッション  
ポスターセッションでは、千曲川、木曽川、斐

伊川の3研究グループより総数14の、集中ポスターセッションでは菊池川研究グループより13のポスター発表がありました。ポスター発表の前には各研究グループの代表が研究テーマを概説することで、参加者がグループの研究全体像と個々の研究とのつながりを認識したうえで意見交換ができるようにしました。

発表時間中はどのポスターの前もほぼ説明が途切れることはなく、参加者へのアンケートでは、「個別に興味を持ったテーマに関して深く質問ができる」などの意見が多く見られ活発な意見交換の場となりました。

## (2) 話題セッション

「河川景観における湧水・地下水への生態学的研究の展望」のテーマ設定で、4名のパネラーが関連する研究内容を紹介した後、パネルディスカッションが行われました。コーディネーターの根岸淳二郎先生が湧水・地下水に関する研究のアプローチの仕方について、いくつかの切り口を提示する形で進められ、様々な観点での意見交換がされました。

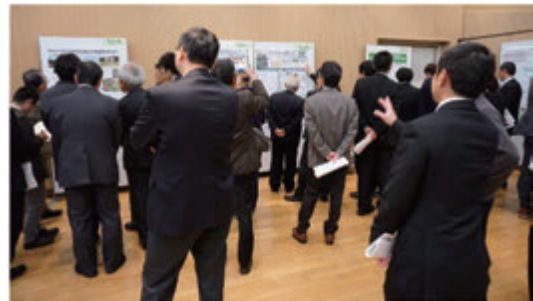


図 研究発表会の開催状況  
(上:集中ポスターセッション、下:話題セッション)

## 3. おわりに

今年度の参加者アンケートでいただいた意見を来年度の発表会の内容や運営に活かしていきたいと考えております。来年度も秋ごろに開催予定ですので、ご興味のある方はぜひご参加ください。